

○研究内容

【指導内容の工夫】
新聞斬り、スポーツチャンバラ等を行った



【指導隊形の工夫】
指導者・手話通訳者がよく見えるように、半円にした



【指導方法の工夫②】
基本打突は、教員を相手に行った



【指導方法の工夫①】
用語カードと手話による説明を行った



【生徒の意欲の向上】

授業前のアンケートでは、「痛い」「厳しい」という剣道に対して意欲的でない回答が多く見られたが、生徒の実態に応じた指導を行うことにより、「楽しかった」「またやりたい」という意欲的な回答が多く見られるようになった。

事後アンケート結果（抜粋）

①興味や親しみを持つことができましたか。

㊦ はい	11
㊧ いいえ	1

②剣道を学んでみてどう思いましたか。

㊦ おもしろい	7
㊧ 怖い	1
㊨ 強くなれそう	5
㊩ 痛い	1
㊪ 礼儀を重んじる	3
㊫ 厳しい	3
㊬ 歴史・伝統を感じる	1
㊭ かつこいい	3
㊮ 集中する	4
㊯ 寒い	0
㊰ その他	1

③来年も学んでみたいと思いますか。

㊦ やってみたい	5
㊧ できればやってみたい	5
㊨ あまりやりたくない	1
㊩ やりたくない	1

武道授業

実践の概要紹介

まんのう町における

武道授業（なぎなた）の実践紹介

まんのう町教育委員会

まんのう町は香川県仲多度郡の3町（琴南町、まんのう町、仲南町）が、平成18年3月20日に合併して誕生しました。県南西部に位置し、面積は約194km²で南北に広く、南側には標高1000mを超える竜王山、大川山を主峰とする讃岐山脈が連なり、そのふもとを県下で唯一の一級河川、土器川が流れています。まんのう町は日本最大級の灌がい用ため池「満濃池」で知られています。他にも国営満濃公園や森林公園などもあり、豊かな田園地帯と豊富な自然に囲まれた町です。また、スポーツ少年団の活動に熱心に取り組む風土があり、特に、武道においては地域の指導者が指導にあたっており、毎年、全国で活躍する選手を輩出しています。

町内にはこども園6園、小学校6校、中学校1校あり、今回、実践を紹介する満濃中学校は町内唯一の中学校です。平成25年に新校舎となり、ゆったりとした学習環境が整備されました。体育館はバレーボールコート3面、武道場は剣道場を3面確保できる十分な広さがあり、町のスポーツ施設としても共用されています。運動場は野球部、サッカー部、ソフトボール部が同時に活動でき、隣接するテニスコートも4面あります。このような充実した環境の中で、生徒は学習や部活動に熱心に取り組んでいます。

生徒数は、1年生148名、2年生138名、3年生が155名、合計441名の規模校です。生徒は、素直で任されたことは最後まで責任をもって一生懸命取り組み、何事も自主的・積極的に行うことが出来ます。



灌がい用のため池として日本一を誇る満濃池

1 保健体育の授業に「なぎなた」を取り入れた理由

本校は、平成27年度までは、保健体育科における武道授業は剣道を行っていました。昨年度より、なぎなたの専門的技術を持つ教師の配置があり、剣道となぎなたの選択履修になりました。なぎなたを取り入れる理由は次の4点です。

- ①なぎなたは、町内の小学校(4条小)において、平成18年度から3年間、文科省の指定を受け全校生を対象に年間14時間〜15時間、体育専科教員と二人の外部講師により体育の授業の中で行われてきた。研究指定終了後の現在も年間4時間、体づくりの一環として継続されている。そのため、中学校入学時点で、経験者が各クラスに数名ずついて授業の中に取り入れやすい。
- ②まんのう町では、地域の行事でなぎなたの演武やリズムなぎなたを披露する機会が多く、なぎなたの活躍の場が多く見られている。そういった機会になぎなたと出合う生徒もいて、なぎなたに興味を持っている生徒も少なからずいる。
- ③他校では、保健体育科の教員が講習会を受講したり、外部講師による指導を受けたりすることで、武道授業を実施する機会が多い。しかし、本校では、なぎなたが専門である保健体育の教師が在籍しているメリットを生かし、実態を見ながら細やかな指導をすることが出来る。また、興味関心を持たせることで、卒業後(高校での部活、社会体育での活動)につなげることも出来る。
- ④はじめになぎなたを人数分用意しておきさえすれば、他の種目

よりも簡単に実施することが出来る。また、怪我也ほとんどなく、

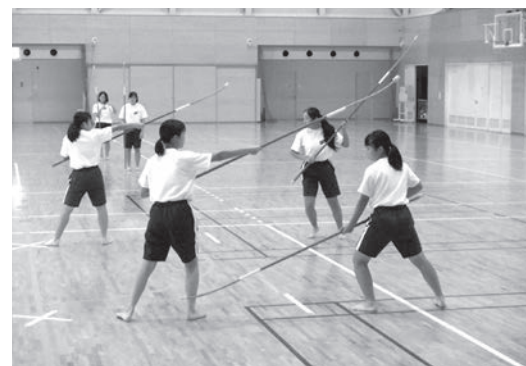
2 授業実践について

今年度は、3年生女子(68名)と1年生女子(76名)を対象として実施しました。

③年生では、昨年の2年生時に8時間「打ち返し」を練習しており、基本的な形を履修済みで

す。今回は「しかけ応じ」八本ある形の中の、簡単に取り組みやすい「一本目・二本目」を学習することにしました。

1時間目 「打ち返し」の復習。一・二本目のしかけの練習



演技競技の様子(3年生)



演技の審判(3年生)

- 2時間目
 - 一・二本目のしかけの復習と応じの練習。一・二本目のしかけ応じの練習
- 3時間目
 - 4人のグループ練習①
- 4時間目
 - 4人のグループ練習②
- 5時間目
 - 競技会用のペアを決め、入退場の練習①
- 6時間目
 - 競技会に向けての練習①
- 7時間目
 - 競技会に向けての練習②
- 8時間目
 - 競技会とともに審判①
- 9時間目
 - 競技会とともに審判②

場面	形態	学習内容及び活動	予想される生徒の反応	指導上の留意点
導入	全	1 ウォーミングアップ (体育館周り2周)		出欠、見学の確認をし、生徒の健康状態を確認する。
	全	2 本時の学習内容を確認する。	正しくできるか心配。	学習課題：打ち返しが正しくできるようにしよう
展開	全	3 前時の復習をする。 (1) 打ち返し(打ち) 打ち返し(応じ)	覚えているのでできる。	教師が号令を掛け、同じリズムで同じ動きを繰り返すことで、一連の動作を確認する。
	4	4 模範の動画を撮る	動画による動きを確認する。	なぎなた部員に模範をさせる。
	4	5 グループで確認し合う (1) iPadを使い、動きや形の確認をする。 2 (2) 打ち返し	・ 正確に打突していない。 ・ 正確に受けられていない。	★ 模範の動画を見て、互いに助言し合えるようポイントを理解させる。 (構え、打突、発声など)
振り返り	全	6 本時のまとめ、次時の学習の確認をする。	・ 動画をみて、正しい動きを教えることができる。 ・ 教えてあげることができなかった。 ・ 上手く教えてあげることができた。	★ 工夫して活動したり、良い声かけができていたりするグループを褒賞する。

- 1年生では、「打ち返し」を学習することになりました。
- 1時間目
 - オリエンテーション
- 2時間目
 - しかけの練習
- 3時間目
 - しかけの復習と応じの練習
- 4時間目
 - 応じの復習とグループ練習 (iPad使用) ①
- 5時間目
 - ペア練習 (iPad使用) ②
- 6時間目
 - ペア練習 (iPad使用) ③
- 7時間目
 - テスト時のペア練習
- 8時間目
 - テスト



演技の様子を撮影(1年生)



なぎなた部員による模範演武の様子(1年生)



動画を見て話し合い(1年生)

